

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名 児童デイサービスレインボー西原

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1			令和5年秋に新しく移転オープンし、充実した指導訓練室のスペースで支援を行っています。
	2	職員の配置数は適切である	7	1			職員は適切な配置数で支援を行っています。専門性については、まだ未熟な職員もいますが、経験豊富な職員が適切にフォローを行っています。また個々が専門性を今以上に高められるよう努力してまいります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		6	2		本事業所は玄関に少し段差がありますが、その他はバリアフリーです。介助の必要な児童の利用がある場合は、適切に対応していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	3			目標に対し、毎日丁寧に評価を行い記録に残し、また定期的に個別支援会議を行い、次の個別支援計画に反映しております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	4			毎年アンケートを行い、保護者の意向を把握し、業務改善に繋げています。またご意見等あれば、その都度受付け、丁寧に対応してまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	2			自己評価の結果を事業所のホームページにて毎年、公開を行っております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	5		外部評価を行い業務改善に繋げていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1			毎月1回以上、研修を行うようにしております。学校が長期休暇の時は、研修が行えない時もありますが、その分、その前後で行っております。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1			標準化されたアセスメントツールを使用しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1	1		毎日違った活動予定をきめ細やかに企画している。休日には平日ではできない活動を取り入れ、子どもたちがイキイキと楽しむことができっております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2			終了後にはミーティングを行っていないが、管理職は報告を受けている。翌日、必ずミーティングを行い、情報共有を行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8				
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8					
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	8				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	8				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	2	4	2		現在、医療ケアの必要な児童の受け入れはないが、必要に 応じて主治医と連携して支援を行っていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	8				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	4	1	3		他事業所に移行する場合には、保護者の承諾を得た上で、必 要な支援情報の提供を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	4	3	1		必要に応じて、連携をおこなっております。研修の計画 も行っております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	2	5	1		公園などではたくさん子どもたちと一緒に遊ん でいます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	1	7			西原町では令和6年度から子ども支援部会が立 ち上がるので、今後は積極的に参加をしていきま す。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	8				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	3	5			子どもの対応に悩んでいる保護者に対し、ペアレント トレーニング等の支援を個別に行っています。
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	7		1		運営規程、支援の内容、利用者負担等については契 約時に丁寧な説明を行っています。またご不明な点が あれば、その都度対応をしております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	8				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		3	5		保護者同士が交流できる場としてBBQを計画してい ます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	7				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	6		2		毎月活動予定表をお渡しし、毎日LINEや送迎時 に情報共有を丁寧に行っています。
	35	個人情報に十分注意している	8				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	8				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	4		地域住民を招待する行事は行えていませんでした。どのよ うな形で地域に開かれた事業所運営できるか、模索してい きます。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1			マニュアルを策定し職員間では共有できているが、保護者とはまだ共有できていないものもある。今後共有していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1			避難訓練を3カ月に1回程度行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	3			やむを得ず身体拘束を行う場合について、組織的に決定し、虐待防止のための指針にて明記し職員と共有している。現在該当する児童はおらず、個別支援計画には記載されていません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2			現在までに食物アレルギーの児童はいませんが、食物アレルギーのあるお子様が入った場合は、医師の指示書に基づき適切に対応を行います。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8				